



WILD BIRD SOCIETY OF JAPAN・SAITAMA

しらこぼと

2010.3

No. 311

日本野鳥の会 埼玉県支部

S H I R A K O B A T O



観察地点の記録に緯度経度を活用しよう

長嶋宏之(蓮田市)

野鳥観察地点を友人に知らせたり、記録に残したりするには幾つかの方法があるが、その一つとして緯度経度を用いる方法がある。この方法は、正確性、簡便性から今後色々な場で要求が高まるものと思われる。そこでGPSと電子地図を用いた緯度経度による観察地点の表し方について記してみた。

ちなみにGPSとはGlobal Positioning System（全地球的測位システム）の略で、米国防総省が管理する衛星からの電波を利用し、緯度、経度、高度などを数十メートルの精度で割り出し、現在地を知らせるシステムだ。

1. どの測地系を使っている地図なのか

(1) 測地系について

地球上の位置を緯度、経度、高度で表すための基準を「測地基準系（測地系）」といい、地球の形に最も近い扁平な回転楕円体を想定して、経度・緯度の測定に関する測量の基準としている。経線・緯線は、この楕円体の上であり、地図を作るための基準となっている。

主な測地系には①WGS84（米国）、②世界測地系、③日本測地系の3つがあり、どの測地系によって作られた地図かによって、同じ場所でも緯度経度が違って表される。

東京付近では、おおむね、日本測地系の数値から、北緯に12秒加え、東経に12秒減ざると、世界測地系の数値が得られる。測地系の詳細は国土地理院のホームページをご参照下さい。

地図の名称	測地系
Google Earth	WGS84
ウオッチず	世界測地系
POINY TOOL	日本測地系

(2) 国土地理院は世界測地系を用いている

日本は測量法の改正により2002年4月1日から世界測地系を用いている。しかし、従来使われていた日本測地系による地図もまだ存在するので、地図を使用するに先立ち、どの測地系を使っている地図なのか調べる必要がある。同じ緯度経度でも世界測地系と日本測地系では東京付近の地表面で400m程度のずれが生じるようだ。

2. 緯度経度を用いる利点と緯度経度で観察地を示す必要性

今やGPSは多方面で使われ、今後もその用途の拡大は計り知れない。我々バードウォッチャーの世界ではどのような使われ方があり、どのような利点があるのか考えてみた。

(1) 観察地点が特定できる

① 目的の場所がピンポイントでわかる

半径十数メートルの精度で目的の場所を示すことができる。これは他にない特徴である。

② 携帯電話を使う友人への連絡

コンピュータを使う友人へは目的地の地図を添付することができる。しかし携帯電話でしか情報交換ができない友人へは緯度経度での情報連絡が効果的だ。

緯度経度が分かれば、道路地図帖などで容易に目的地を探せる。

③ 土地勘の無い人への説明

横須賀市のN友人がウミスズメを見られる港を港名と緯度経度で情報をくれた。しかし、港名は手元の地図帳に載っていない。経度緯度を教えて貰ったので、容易に現着でき、めでたくウミスズメを観察できた。

(2) 記録性が高く、生態系の変遷や市町村名の変化に対応できる

私のフィールドの一つに蓮田市・西城沼公園がある。この公園は約25年前に田んぼを埋め立てて公園化された。このように現在、湿地であっても、将来埋め立てられて

公園や住宅地になるかもしれない。そこに生息していた野生動植物も変化の影響を受けるであろう。

また、市町村合併で住所や地名が変わることもある。支部報『しらこぼと』が国会図書館に寄贈されるようになって久しい。記録性を重んじるならば、観察地点や採鳥地の緯度経度を用いて記録に残したい。緯度経度を用いて観察地を記録に残す事は、そこでの観察種を記録に残すと同様に重要であり、自然観察者の役目のように思うのである。

3. 緯度経度を用いている例の紹介

- ①日本野鳥の会群馬県支部：マイフィールド登録カード
- ②文京学院大学：定点観察地をGPSを用いて特定し、そこでの観察種を電子地図に落して、野鳥保護ビオトープ計画を立案する中高大学生の自然体験学習
- ③NPO 法人バードリサーチ：ミヤマガラス初認記録送信フォーム
- ④2008年12月伊豆沼周辺の某野鳥観察会が、同沼周辺でシジュウカラガン46羽の採餌場所を緯度経度を使って記録
- ⑤支部報『しらこぼと』野鳥情報や友人との情報交換

4. 現地や帰宅後、経緯度を取得するツールの紹介

- ①GPS機能内蔵型デジタルカメラ（例 Nikon COOLPIX6000）
- ②調査・研究・登山用品（例 GARMIN社製 Handy GPS 型式 geko201, eTrex Venture HC）
- ③GPS機能付き携帯電話（2007年4月から原則として携帯にGPS機能内蔵が義務化された）
- ④地図帳（例 桐昭文社『県別マップル道路地図』他）
- ⑤電子地図（例 国土交通省国土地理院の地図閲覧サービス Mapion Point Tool いつもガイド他）

5. 電子地図による観察地点の表し方

(1) 観察地点の緯度経度を取得するには



ミヤマガラス(寺添捨男)



圏央道建設中。この地はミヤマガラスが飛来する。将来もミヤマガラスは来るだろう。か。
北緯 36.0483 度 (36° 2' 53.9")
東経 139.6113 度 (139° 36' 44.7")

- ①「ウオッチーズ」で、国土交通省国土地理院地図閲覧サービスを検索する。
- ②「地図閲覧サービスストップページ」を左1回クリック。
- ③「ウオッチーズ」を左1回クリック→「ウオッチーズ」が表示される。
- ④次の四つの中から検索方法を選ぶ（左1回クリック）。
 - ・索引図による検索 ・地名、公共施設による検索 ・経緯度による検索
 - ・市町村名による検索
- ⑤以下、電子地図の指示に従う。
(2) 与えられた緯度経度から観察地点を検索するには
 - ① (1)の③まで同じ操作をする。
 - ②「経緯度による検索」を左1回クリック。

- ③ 60 進法の経緯度を例に倣って書き込み検索する。

<参考>

- ・Google Earth は 10 進法の半角英数で、35.9030 139.7176 と打ち込み検索すると埼玉スタジアムが表示される。
- ・バードリサーチの「緯度経度取得 エクセルコピー フォーム」も 10 進法の半角英数で 35.9030 139.7176 と打ち込み検索すると埼玉スタジアムが表示される。

6.10 進法と 60 進法

単に観察地や目的地の緯度経度を友人との情報交換に使うのであれば、10 進法でも 60 進法でも使い易い方を使えばいいと思う。

しかし将来、「他組織との情報交換を行う」「データを解析して電子地図上にマッピングする」「GIS (Geographic Information System の略 地理情報システム) を使う」等の目的で多量のデータを蓄積する際は、10 進法によるデータが使い易いし、10 進法による記載を要求されることも予想される。従って、組織として位置情報を蓄積する場合は 10 進法を推奨する。

この記事を読んだ皆様が、GPS や GIS に興味を持ち、必要性を感じて緯度経度で観察地を表現し、記録に残して頂ければ幸せです。

※アドレス一覧

- 国土交通省国土地理院のホームページ
<http://www.gsi.go.jp/LAW/G2000-g2000.html>
- 国土交通省国土地理院 「ウオッチーズ」地図閲覧サービス
<http://watchizu.gsi.go.jp/>
- 日本野鳥の会群馬県支部「マイフィールド登録カード」
http://www.geocities.jp/wbsj_gunma/kiroku.html
- NPO 法人バードリサーチ 「ミヤマガラス初認記録送信フォーム」
http://www.bird-research.jp/1_katsudo/miyamagarasu/miyamamapon.html
- NPO 法人バードリサーチ 「緯度経度取得 エクセルコピー フォーム」
http://bird-research.jp/1_katsudo/forms/
- Mapion 「Point Tool 緯度経度取得ツール」
<http://www.mapion.co.jp/custom/pointcmj/index2.html>

2009 年秋 埼玉県タカの渡り調査

日本野鳥の会埼玉県支部研究部

本調査は (表 1) の通り実施され、(表 2) の結果を得ました。多くの方々のご協力に感謝申し上げます (小荷田行男)。

表 1 調査状況

調査地	標高	調査者	調査日時	天候
金勝山げんきプラザ(小川町)	264m	後藤康夫ほか10名	9月23日8:00~12:30	曇のち晴
物見山駐車場(東松山市・鳩山町)	130m	榎本秀和ほか9名	9月23日8:40~12:00	曇
天覧山(飯能市)	195m	佐久間博文ほか14名	9月23日8:00~13:00	曇

表 2 タカの渡り種別観察数

	サシバ	ハチクマ	オオタカ	ノスリ	トビ	ミサゴ	ハイタカ	合計
金勝山げんきプラザ	6	0	0	4	8	0	1	19
物見山駐車場	5	0	0	0	0	1	0	6
天覧山	4	2	1	3	5	0	2	17



野鳥情報

渡良瀬遊水地 ◇11月3日、ノスリ、チュウヒ、ミサゴ、ハイイロチュウヒ♀1～2羽、コチョウゲンボウ1羽。11月23日、チュウヒ5羽十、ハイイロチュウヒ♂2羽。チュウヒにからむハイタカ、そのハイタカにからむコチョウゲンボウ（鈴木紀雄）。

蓮田市黒浜 ◇11月5日、東埼玉病院でアカハラ、シロハラ、エナガ、カケスなど。11月18日、下沼でアシ原の上を飛び、木にとまったハイタカをじっくり観察。東埼玉病院でカシラダカ40羽（鈴木紀雄）。

蓮田市根ヶ谷公園 ◇11月24日朝、ヤマガラ3羽、今季当地初認（本多己秀）。

蓮田市黒浜 ◇11月27日、東埼玉病院東縁でツグミ、シロハラ、アカハラ、シメ、ルリビタキ♀2羽、ジョウビタキ♀1羽、カケスと一応冬鳥勢揃い。12月20日、上沼北側のアシ原でベニマシコ♀1羽（鈴木紀雄）。◇12月6日、黒浜沼でツグミ、アオジ、オオジュリン、カシラダカ、ジョウビタキ、バン、チョウゲンボウ♂♀など。チョウゲンボウはゆっくりと飛び回り、電柱や電線にとまる。地面に降りてバッタを捕り、電柱のてっぺんで食べていた。12月10日、東埼玉病院でツグミの群れ、ジョウビタキ、カシラダカ約40羽の群れ、アオジ5～6羽、シロハラ、カケス5～6羽など（本多己秀）。

蓮田市西城沼公園 ◇11月28日、ツミ♂成鳥が電線に。散歩の人に見せていたら屋敷林に飛び込んだ。12月7日、エナガ2羽確認。今季ここでの初認。12月15日、シロハラを確認。今季ここでの初認。ここ数日の寒さと風でジョロウグモの網が無くなった（長嶋宏之）。

さいたま市岩槻区岩槻文化公園 ◇11月9日、オオタカが上空を飛ぶ。カワセミ、エナガ、シロハラ、アカハラ、アオジ、カケスなど。11月16日、カシラダカ初認。ツグミ、カワセミ、エナガなど。11月19日、カイツブリ、カワウ、マガモ♂2羽♀1羽、カルガモ、コガモ、ヒドリガモ、カワセミ、ジョウビ

タキ、アカハラ、シロハラ、ツグミ、ウグイス、エナガ、アオジ、シメ、カケス、オナガなど。11月20日、キセキレイ、アリスイの声、ルリビタキ♀、イカルチドリなど。

11月25日、南端脇のブッシュでアリスイ発見。割と近距離で観察できた。11月26日、カワセミ、ツグミ、シロハラ、カシラダカなど。チョウゲンボウ♂が居ついているようだ。11月28日、モズ♀がトカゲをくわえ、首をねじりながら枝に刺していた。いわゆる「はやにえ」の瞬間を目撃した。11月29日、上空をシギが飛んできた。探したら元荒川岸にクサシギが降りていたが、すぐに飛び去る。他にオオジュリンの声、カシラダカ、チョウゲンボウなど。12月2日、アリスイの声、笹藪の地面でガビチョウ1羽。12月6日、アカハラ、エナガ、ルリビタキ♀2羽、バンなど。12月17日、ガビチョウ2羽、いよいよ定着か（鈴木紀雄）。

さいたま市岩槻区南平野 ◇11月20日、元荒川でコブハクチョウ2羽、オオハクチョウ1羽。すでに1ヶ月近くいるとのこと。全然知らなかった（鈴木紀雄）。

さいたま市岩槻区横根 ◇11月25日、電線に並ぶハシブトガラス、ハシボソガラス、ミヤマガラスの混群約20羽のカラスたちの中でひと際小さい1羽。接近して確認したら、やはりコクマルガラスだった。この近辺では初認（鈴木紀雄）。

さいたま市岩槻区馬込 ◇11月26日、赤坂沼でオカヨシガモを今季初認（田中幸男・和子）。

さいたま市岩槻区高曽根 ◇12月2日、ノスリ1羽、チョウゲンボウ♂1羽、カワセミ♂1羽、ケリ8羽十2羽の計10羽（鈴木紀雄）。

さいたま市岩槻区野孫 ◇12月8日、ケリ6羽（鈴木紀雄）。

さいたま市見沼区膝子 ◇11月9日、電線にミヤマガラス30羽。12月3日、ミヤマガラス約250羽の大群（鈴木紀雄）。

さいたま市桜区鴨川さくら草水門 ◇11月29日、カワウ、コガモ、マガモ、コサギ、アオサギ、バン、モズ♂など（陶山和良）。

さいたま市緑区大門 ◇12月2日、工事中の遊水地で敷かれた鉄板脇の地面にイカルチドリ11羽が休んでいた。12月8日、遊水地で採餌するイカルチドリ8羽、イソシギ2羽（鈴木紀雄）。

さいたま市桜区荒川総合運動公園 ◇12月19日、19羽のタゲリが富士山をバックに飛んだ。ツグミがゴルフ場内の樹木や芝生に多数。多数のヒバリが公園内の芝生で採餌。カワラヒワの群れが土手で採餌。チョウゲンボウとハヤブサが空中戦。その他コサギ、ホオジロ、カシラダカなど（長嶋宏之）。

越谷市越谷レイクタウン大相模調整池 ◇11月10日、カイツブリ10羽、バン3羽、アオサギ2羽、ダイサギ1羽、コサギ1羽、キジ3羽など。11月26日、カワセミ1羽、カイツブリ6羽、アオサギ2羽など。12月6日、カワセミ1羽（須釜久美子）。

菖蒲町柴山枝郷 ◇11月10日、ツグミ今季初認（鈴木紀雄）。

菖蒲町小林 ◇11月10日、ニュウナイスズメ70羽。11月19日、ミヤマガラス20羽、ニュウナイスズメ150羽、チョウゲンボウ♂1羽（鈴木紀雄）。

菖蒲町台 ◇11月19日、ミヤマガラス30羽と50羽の2群。50羽の群れ中にコクマルガラス淡色型4羽、暗色型1羽（鈴木紀雄）。

菖蒲町上大崎 ◇11月19日、ミヤマガラス250羽の群れ中にコクマルガラス暗色型7羽、淡色型1羽（鈴木紀雄）。

伊奈町小室 ◇11月19日、ミヤマガラス30羽（鈴木紀雄）。

白岡町柴山沼 ◇11月28日、コハクチョウ1羽と2羽のコブハクチョウが並んで泳いでいた。ここでは珍しいカンムリカイツブリ1羽（長嶋宏之）。

白岡町元荒川八幡橋 ◇11月28日、ユリカモメ1羽、イカルチドリ7羽、イソシギ1羽、コサギ2羽、ダイサギ1羽。ここでは珍しくオナガガモ♂2羽♀1羽。その他コガモ、カルガモ多数（長嶋宏之）。

久喜市久喜菖蒲公園 ◇11月24日、昭和沼でカルガモ、コガモ、オナガガモ、ヒドリガ

モ、ホシハジロ、ハシビロガモ、ヨシガモ、オオバン、カイツブリ、カンムリカイツブリなど（本多己秀）。◇12月20日、トモエガモ♂2羽。オカヨシガモ♂2羽♀3羽、キンクロハジロ、ホシハジロ、オオバン、カンムリカイツブリなど（長嶋宏之）。

戸田市彩湖 ◇11月29日、カンムリカイツブリ、オオバン、ユリカモメ、オシドリ♂、ヨシガモ、ヒドリガモ、ベニマシコ♂、ジョウビタキ♂♀、ツグミ、ホオジロ、メジロ、シジュウカラなど（陶山和良）。

北本市北本自然観察公園 ◇12月5日正午過ぎ、ルリビタキ♂1羽、アシ原付近で「ヒッヒッ」とういかすかな地鳴きを聞いた。少し行った通路脇の塀の上にブルーの鳥が1羽いた。他にカケス、シメなど。12月13日、ルリビタキ1羽、真っ青な♂（本多己秀）。

狭山市智光山公園 ◇12月8日、オジロビタキ♀1羽=下写真=（久保田忠資）。



吉見町八丁湖公園 ◇12月13日、ベニマシコ♂♀4羽、アオジ、アカハラ、ジョウビタキ、マガモ、アオサギなど（本多己秀）。

蓮田市黒浜 ◇12月15日、T氏からの黒浜沼にカンムリカイツブリ初飛来の知らせを受け、観察へ。この珍客はカイツブリと遊んだり、沼の南北を行ったりきたり、潜ったり。たっぷり楽しませてくれた（田中幸男）。

表紙の写真

スズメ目ツグミ科ジョウビタキ属ジョウビタキ
町田好一郎(本庄市)



行事案内



ミコアイサ(早川満)

「要予約」と記載してあるもの以外、予約申し込みの必要はありません。初めての方も、青い腕章の担当者に遠慮なく声をおかけください。私たちもあなたを探していますので、ご心配なく。

参加費：就学前の子無料、会員と小中学生 50 円、一般 100 円。持ち物：筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、持っていれば双眼鏡などの観察用具も（なくても大丈夫）。

解散時刻：特に記載のない場合正午から午後 1 時ごろ。悪天候の場合は中止、小雨決行です。

できるだけ電車バスなどの公共交通機関を使って、集合場所までお出かけください。

3 月は鉄道・バスの時刻表変更があります。本案内は執筆当時の時刻表に基づいていますので、変更があるかもしれません。ご注意ください！

蓮田市・黒浜沼探鳥会

期日：3 月 7 日（日）

集合：午前 8 時 40 分、JR 宇都宮線蓮田駅東口バス停前。

担当：玉井、吉安、田中、長嶋、長野、菱沼（一）、榎本（建）、青木、赤坂

見どころ：梅も咲いて鳥たちも旅立ちの準備。沼周辺のアシも刈り取られる予定です。

寄居町・玉淀河原探鳥会

期日：3 月 7 日（日）

集合：午前 9 時 30 分、寄居駅南口駅前広場。

交通：秩父鉄道熊谷 8:51 発、または東武東上線川越 8:27 発にて、小川町乗り継ぎ。

担当：小池（一）、井上、後藤、大澤、堀口、鶴飼、岡田

見どころ：早春の荒川周辺をゆっくり歩きながら、野鳥と野草を楽しみましょう。河原を歩ける靴でお出掛けください。

加須市・加須はなさき公園探鳥会

期日：3 月 13 日（土）

集合：午前 8 時 45 分、東武伊勢崎線花崎駅改札口。集合後徒歩で現地へ。または午前

9 時、加須はなさき公園駐車場。

交通：東武伊勢崎線春日部 8:22→久喜 8:35→花崎 8:42 着。JR 宇都宮線大宮 7:57→久喜 8:23 で東武伊勢崎線乗り換え。

共催：加須はなさき公園管理事務所

担当：青木、中里、長嶋、四分一、栗原、内田、植平、長谷川、茂木

見どころ：冬鳥たちも長旅に備えての帰り支度。昨年はベニマシコも出ました。トイレも整った安心コースです。

熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：3 月 14 日（日）

集合：午前 9 時 30 分、秩父鉄道大麻生駅前。

交通：秩父鉄道熊谷 9:09 発、または寄居 8:49 発に乗車。

担当：大澤、森本、中里、倉崎、高橋（ふ）、後藤、藤田（裕）、栗原、飛田、新井（巖）、千島、鶴飼、岡田、進士

見どころ：風はまだ冷たいけれど、芽吹く梢に春の実感。北へ帰る冬鳥、気の早い夏鳥を探して森、河原を歩きます。

さいたま市・見沼自然公園探鳥会

期日：3 月 14 日（日）

集合：午前 8 時 15 分、JR 大宮駅東口「こりすのトトちゃん」像前。または午前 9 時 15 分、見沼自然公園駐車場。

担当：浅見、工藤、兼元、松村、赤堀、金子、船木、新井（勇）、山田（東）、野口

見どころ：輝く春の光の中、鮮やかさを増した冬鳥や留鳥たち。ツグミやホオジロ、カモの仲間が見られます。

お願いとご注意：見沼たんぼ・さいたま市&市民ネットワークの「見沼たんぼクリーン大作戦」に協力。感謝を込めてゴミ拾いをします。軍手をご用意ください。同作戦の一部チラシに、市民ネット主催行事は参加費無料とありますが、支部主催探鳥会は、通常通りの参加費が必要です。

さいたま市・三室地区臨時探鳥会

期日：3月14日（日）

集合：午前8時45分、京浜東北線北浦和駅東口、集合後バスで現地へ。または午前9時30分、さいたま市立浦和博物館前。

担当：楠見、藤掛、増田、三室担当のリーダー有志

お願いとご注意：「見沼たんぼクリーン大作戦」の一環として、ゴミ拾いをしながらの臨時探鳥会です。手袋（必須）、あればその他必要な用具をご持参ください。定例探鳥会より30分遅い集合です。定例探鳥会はいつも通り翌週21日に開催。参加費については前記見沼自然公園探鳥会と同じ。

見どころ：ゴミ拾いをしていると、メジロやシジュウカラ、コゲラが姿を見せてくれます。春到来の見沼たんぼです。

坂戸市・高麗川探鳥会

期日：3月14日（日）

集合：午前9時、東武越生線川角駅前。

交通：東武東上線川越8:10→坂戸で越生線乗り換え8:39発。または寄居7:38→小川町乗り継ぎ、坂戸で越生線乗り換え。JR川越線大宮7:35→川越で東武東上線乗り換え。

担当：山口、青山、久保田、志村、杉原、高草木、高橋（優）、林、藤澤、増尾、持丸、山田（義）

見どころ：春の息吹を感じながら高麗川沿いを歩き、帰り支度に忙しい冬鳥や身近な

留鳥、足元の草花を楽しみましょう。

神奈川県・城ヶ島探鳥会

<今回はバスツアーではありません>

期日：3月20日（土）

集合：午前9時20分、京浜急行三崎口駅改札口付近。集合後、9時33分発の路線バスにて現地へ。

交通：京浜急行特急（品川発8:04→横浜8:28→三崎口9:18着）に乗車。『三浦半島1DAY切符』がお得です。（品川から1900円、横浜から1400円）。

解散：正午ごろ、現地にて。

担当：小林（み）、青木、長谷川

見どころ：海岸から海鳥を観察します。ウミスズメ、カンムリウミスズメが近くに着水してくれることを願いましょう。

注意：前日午後5時気象庁発表の天気予報で、神奈川県東部の当日午前6時から正午までの降水確率が50%以上の場合は中止。その場合担当者は当日に、現地（三崎口駅）に行きませんので、気象庁ホームページまたは電話（0468-177）で各自ご確認ください。予報が外れて当日雨が降っていない場合も中止とします。

『しらこぼと』袋づめの会

とき：3月20日（土）午後3時～4時ころ

会場：支部事務局108号室

さいたま市・三室地区定例探鳥会

期日：3月21日（日）

集合：午前8時15分、京浜東北線北浦和駅東口、集合後バスで現地へ。または午前9時、さいたま市立浦和博物館前。

後援：さいたま市立浦和博物館

担当：楠見、福井、倉林、渡辺、若林、小菅、赤堀、新部、青木、増田、宇野澤、須崎、船木

見どころ：14日のゴミ拾い臨時探鳥会できれいになった見沼たんぼを歩きます。

長瀨町・宝登山探鳥会

期日：3月22日（月・祝）

集合：午前9時20分、秩父鉄道長瀬駅前。

交通：秩父鉄道熊谷8:18→寄居8:46。

解散：宝登山山頂梅園前。

担当：井上、小池（一）、佐久間、青山、大澤、堀口、鶴飼、岡田

見どころ：昨年は探鳥会は雨で中止でしたが、山頂まで登ってみました。上空にオオタカ、桜林にウソ、植林の伐採跡地にカヤクグリなどを見ました。寒暖差がありません。上着と温かい飲み物はお忘れなく。

栃木県・日光東照宮裏山探鳥会

期日：3月27日（土）

集合：午前9時25分、東武日光駅前。集合後、路線バスで「総合会館前」まで移動。

交通：東武伊勢崎線春日部7:44発「快速」東武日光行き、または栗橋7:56→板倉東洋大前で8:11発「快速」東武日光行きに乗り換え、東武日光9:20着。

解散：午後2時ごろ、神橋付近にて。

担当：玉井、田中、中里、植平、佐野、佐藤
見どころ：大谷川と稲荷川沿い周辺を歩き鳥を探します。カワガラスとミンサザイがお目当てですが、ここ数年毎回クマタカ、キバシリが出ています。

狭山市・入間川定例探鳥会

期日：3月28日（日）

集合：午前9時、西武新宿線狭山市駅西口。

担当：長谷部、藤掛、高草木、中村（祐）、山本（真）、久保田、石光、山田（義）、山口、星、水谷、間正

見どころ：スミレの仲間が咲き、ツバメがやってくる季節になりました。桜の見頃まであと少し。

行田市・さきたま古墳公園探鳥会

期日：3月28日（日）

集合：午前9時50分、県立さきたま史跡の博物館前レストハウス。

交通：JR高崎線吹上駅北口から、朝日バス行田車庫（佐間経由）行き9:10発で、「産

業道路」下車、徒歩約15分。

またはJR北鴻巣駅東口から、さきたまシャトルバス9:30発にて、「さきたま古墳」下車にて徒歩2分。

担当：内藤、岡安、立岩、栗原、高橋（ふ）、長谷川、茂木

見どころ：桜がほころび始めましたが、まだ冬鳥はいます。新しい北鴻巣駅からのバス交通便に合わせて集合時間を変更しました。

松伏町・松伏記念公園探鳥会

期日：3月28日（日）

集合：午前9時30分、松伏記念公園北口駐車場。

交通：東武伊勢崎線北越谷駅東口、1番バス乗り場から、茨急バス8:57発エローラ行きで「松伏高校前」下車。

担当：田邊、橋口、植平、大塚、吉岡（明）、榎本（建）、野村（弘）、野村（修）、土澤、森下、進士

共催：松伏中央公民館

見どころ：冬から春への変化を、鳥の世界を通じて探索します。昨年のはのんびり冬鳥と気の早い夏鳥がそろい踏み。公園と農耕地を、皆で楽しく歩きましょう。

北川辺町・渡良瀬遊水地探鳥会

期日：4月3日（土）

集合：午前8時10分、東武日光線柳生駅前
または午前8時30分、中央エントランス駐車場。

交通：東武日光線新越谷7:22→春日部7:35→栗橋7:56→柳生8:05着。またはJR宇都宮線大宮7:07→栗橋7:41着で、東武日光線乗り換え。

解散：正午ころ、谷中村史跡駐車場。

担当：内田、橋口、玉井、中里、田邊、四分一、佐野、佐藤、植平、茂木、進士、山田（東）

見どころ：アシ焼も終え、春の訪れ。焼いた大地の上になどんな野鳥が現れるか、干し上げ谷中湖はどうなったのか。アシ原や、旧谷中村を歩いてみます。



行事報告

9月23日(水、休) タカの渡り調査

ボランティア: 36名

浅見徹、石井博、石光章、鵜飼喜雄、榎本秀和、大勝学、大澤祐、奥山隆行、北爪明子、北爪ゆうた、倉崎哲郎、小出博、後藤康夫、佐久間博文、沢井清、柴田和見、志村佐治、杉原みつ江、鈴木敬、関口善孝、高橋尚之、高橋ひとみ、千島康幸、富田美邦、中里裕一、野口修、野口由美子、船木教樹、松井昭吾、南大鉦、南佳菜子、村上政直、山田東二、山田良子、吉原俊雄、吉原早苗。小川げんきプラザ、物見山、天覧山で行われた。ボランティアの皆様、お疲れ様でした。(小荷田行男)

10月25日(日) 行田市 さきたま古墳公園

参加: 14名 天気: 曇

カワウ ダイサギ コサギ マガモ カルガモ コガモ キジバト カワセミ コゲラ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ウグイス ヤマガラ シジュウカラ メジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス (24種) (番外: ドバト) 朝から小雨がぱらつくなか、ジョウビタキの出ることを願いつつスタート。天気の悪いせいか鳥は出てくれないで、ヒヨドリと、モズの高鳴き、にぎやかなカケスぐらい。「ジョウビタキの声が聞こえる」に励まされて期待を膨らませ、浅間神社の森を出たところでやっとお目にかかれてひと安心。やはりこの時期はジョウビタキを見なくては。カラスとコサギが群れて飛んだが、バトルするのかと思わせる上空の舞であった。古墳の池ではカモ3種とダイサギ、カワセミで楽しんだ。参加者も鳥も少なかったが、楽しく過ごせたと参加者の声をいただき、リーダー一同安心の半日だった。(内藤義雄)

10月31日~11月1日(土~日) 宮城県 伊豆沼

参加: 24名 天気: 両日とも曇

カイツブリ ミミカイツブリ カンムリカイツブリ カワウ ダイサギ チュウサギ アオサギ

マガン ヒシクイ オオハクチョウ コハクチョウ マガモ カルガモ コガモ トモエガモ ヒドリガモ オナガガモ ハシビロガモ ホシハジロ キンクロハジロ トビ オオタカ ノスリ チュウヒ コチョウゲンボウ チョウゲンボウ キジ オオバン タゲリ エリマキシギ ツルシギ イソシギ オグロシギ ハシグロクロハラアジサシ キジバト アカゲラ コゲラ ヒバリ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス ヤマガラ シジュウカラ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ ベニマシコ シメ スズメ ムクドリ カケス オナガ ミヤマガラス ハシボソガラス ハシブトガラス (61種) (番外: ドバト) 曇り空のせいかそう寒くはない。マガンやハクチョウの群れを背景に、田んぼに降りたコチョウゲンボウが盛んに獲物を食べていた。夕方、蕪栗沼でガンのねぐら入りを堪能する。翌朝は伊豆沼2工区湖畔でガンの飛び立ちを待つも、朝もやが立ち込めてやや物足りない。と、そこへハシグロクロハラアジサシ冬羽1羽が飛来してびっくり! すごい鳥が出てしまった(おそらく伊豆沼初記録)。さらに午後、全身が白いガンを見つけ、おおいに盛り上がるも、けっきょくマガンの白化個体と同定。でも、これってハクガンより珍しいかも。(榎本秀和)

11月7日(土) 上尾市 丸山公園

参加: 33名 天気: 晴

カイツブリ カワウ コサギ マガモ カルガモ コガモ オオタカ ハイタカ ノスリ チョウゲンボウ コジュケイ キジ キジバト カワセミ コゲラ ヒバリ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ アオジ アトリ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス (35種) (番外: ガビチョウ、ドバト) 下見では冬鳥が1種も出ず不安だったが、スタート地点で先ずカワセミが出てくれたのでいくらか気持ちが楽になる。公園の中を進むとアトリがいた。この探鳥会では初めてだ。ジョウビタキ、ツグミと出て調子が上がってきた。河川敷ではオオタカ、ハイタカ、ノスリの飛翔が見られラッキー。そのあと長い河川敷を歩いたがタヒバリには会えず少し淋しい。と

もかく冬鳥に会えたので満足としよう。

(大坂幸男)

11月8日(日) 熊谷市 大麻生

参加: 42名 天気: 晴

カイツブリ カワウ アオサギ コハクチョウ
マガモ カルガモ キンクロハジロ スズガモ
ホオジロガモ トビ オオタカ ノスリ イソシ
ギ キジバト ヒバリ キセキレイ ハクセキレイ
セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビ
タキ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ
ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ シ
メ スズメ ムクドリ カケス ハシボソガラス
ハシブトガラス (35種) (番外: ガビチョウ、ドバ
ト) メインリーダー第1回目。挨拶等なんとか済
ませ土手に上がった。早速ジョウビタキ、シメが
出てくれ、モズ。SLを眺め土手を進むと、ツグ
ミ、カシラダカ、アオジ。ゴルフ場の池にマガモ、
キンクロハジロ、スズガモ。林縁からオオタカが
飛び出した。川べりに出ると対岸の木に先ほどの
オオタカ。ノスリは水浴び。全員で堪能した。明
道寺でトイレ休憩後明戸堰へ。ところが下見の時
はなかった通行止のフェンス。12月25日まで工事
のためらしい。漁協の人をお願いしフェンス内
に入れてもらい、コハクチョウ、ホオジロガモ、キ
セキレイ等を確認。鵜飼さんの鳥合わせで無事終
了。ほっとした。

(千島康幸)

11月15日(日) 嵐山町 菅谷館都幾川

参加: 39名 天気: 晴

カイツブリ カワウ ダイサギ アオサギ マガ
モ カルガモ コガモ ハイタカ ノスリ コジ
ユケイ キジ イカルチドリ キジバト カワセ
ミ アカゲラ コゲラ ヒバリ キセキレイ ハ
クセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ
ジョウビタキ ノビタキ ツグミ ウグイス エ
ナガ ヤマガラ シジュウカラ メジロ ホオジ
ロ カシラダカ アオジ カワラヒワ シメ ス
ズメ ムクドリ カケス ハシボソガラス ハシ
ブトガラス (40種) (番外: ガビチョウ、ドバト)
前日までの雨の影響もなく暑い陽気となる。カラ
類に続き、ハイタカが上空を旋回。都幾川ではキ
ジ♀やイカルチドリ、カワセミなども姿を見せる。
また、田んぼではノビタキが1羽出現。盛んに虫
を採餌する姿が見られた。

(後藤康夫)

11月15日(日) さいたま市 三室地区

参加: 60名 天気: 晴

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ アオサ
ギ カルガモ コガモ ヒドリガモ オオタカ
チョウゲンボウ バン オオバン イソシギ キ
シバト カワセミ コゲラ ヒバリ キセキレイ
ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ
ジョウビタキ ツグミ ウグイス シジュウカラ
メジロ ホオジロ アオジ カワラヒワ シメ
スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハ
シブトガラス (36種) 北宿大橋の北側の代用水沿
いと芝川を歩いたが、冬鳥もかなり出現してにぎ
やかな探鳥会になる。天気良好、風もなくて、電
柱の先に止まったキセキレイが青空を突き抜けて
いた。カモ類はまだ少なかったが、カワセミやサ
ギ類が多く出て、晩秋の装いを見せた見沼たんぼ
を楽しんだ。

(楠見邦博)

11月21日(土) 『しらこぼと』袋づめの会

ボランティア: 10名

江浪功、榎本秀和、海老原教子、海老原美夫、大
坂幸男、清水久、志村佐治、藤掛保司、増尾隆、
松村禎夫

11月22日(日) さいたま市 見沼自然公園

参加: 33名 天気: 曇時々雨

カイツブリ カワウ コサギ アオサギ マガモ
カルガモ コガモ ヒドリガモ オナガガモ ハ
シビロガモ バン オオバン キジバト カワセ
ミ コゲラ ヒバリ ハクセキレイ セグロセキ
レイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ
ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオ
ジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ シメ
スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガ
ラス (35種) (番外: ドバト) 集合時間前から小雨
がパラツキでしたが、皆さん熱心! 濡れるのも
気にせず鳥見を楽しんだ。出発して直ぐの見沼代
用水東縁にカワセミ♂、加田屋川岸の草地にタ
ヒバリ3+、見沼たんぼの植木畑にジョウビタキ♂、
公園に戻って目の前の木立にコゲラ2 (後側頭部
の橙赤色羽毛も)、公園池のカモ6種など、全員で
ゆっくり観察できた。でも、一番人気は、途中ト
イレ休憩で立ち寄った見沼くらしっく館 (旧坂東
家住宅)。熱いお茶のサービスまで受けて、身体も
心も温もった。

(浅見 徹)



●探鳥会での緊急連絡カードを準備中

先日ある探鳥会で参加者の1人が気分を悪くし、救急車を呼ぶ事態がありました。幸いすぐに回復し何事もなくすんだのですが、普及部会や役員会で様々話し合いました。

中でも、緊急事態が発生した時、その方の個人情報分らないという点が問題になりました。参加者名簿に住所氏名などを書いていただいても、その中のどなたであるかが、分らないかもしれません。住所氏名が分っても、緊急電話連絡先などは分りません。病歴なども一切分りません。私たちがその方の懐中や持ち物などを勝手に調べることもできません。

そこで浮上した案が「緊急連絡カード」です。表からは見えない二つ折りカードの内側に、緊急連絡先・持病がある場合の主治医連絡先・服用薬・注意が必要な既往症・血液型などを書き、ケースに入れて首からさげてくださいというものです。

全参加者に強制するものではなく、趣旨をご理解いただいた方だけを対象に、実験的に始めようかと、印刷費見積もりなど、準備を進めています。

●さいたま市緑区の委員推薦

さいたま市緑区区民会議から1月26日づけで「緑区の花・木・鳥の選定委員」推薦の依頼が届き、同区在住の楠見邦博監事を推薦しました。

●普及活動

1月13日(水)、坂戸市浅羽ビオトープで開催された川越市川鶴公民館主催バードウォッチング講座には合計45名が参加、藤掛保司・増尾隆・杉原みつ江が講師として指導し、林久美子・藤掛宮子・中間清美・小松裕

子・北村隆・坂口稔・藤原が手伝いました。

1月24日(日)に開催された県立小川げんきプラザ(小川町)親子野鳥観察会には合計48名が参加、後藤康夫・新井巖・千島康幸・鶴飼喜雄が指導しました。

●会員数は

2月1日現在2,093人です。

活動と予定

1月16日(土) 2月号校正(海老原美夫・志村佐治・藤掛保司・山田義郎)。

1月17日(日) 役員会(司会:藤掛保司、各部の報告・緊急連絡カードの様式など・その他)。

1月25日(月)「支部報だけの会員」に向け2月号を発送(海老原美夫)。

1月30日(土)~31日(日) 役員リーダー研修旅行。銚子沖海上ウォッチング体験、銚子港・波崎港でのカモメ類勉強など。

●3月の予定

3月6日(土) 編集部・普及部・研究部会。

3月13日(土) 4月号校正(午後4時から)。

3月20日(土) 袋づめの会(午後3時から)。

3月21日(日) 役員会(午後4時から)。

編集後記

職員旅行で静岡県に行ってきた。柿田川の源流にミサゴがいた。鳴き声を初めて聞いた。ホテルでは窓からウミウのコロニーがよく見えた。久能山のロープウェイに乗っているとそのロープにまたまたミサゴ、そして上空を旋回するノスリ。同行の職員より得した気分の旅行でした。(山部)

犬吠崎近くの外川港から外洋に出る船での探鳥に参加。激しく揺れて、鳥影を双眼鏡でとらえるのも難しい。十分準備したはずでも2人ほどダウン。会員向けの支部行事にするには、ちょっとハードかな。(海)

しらこぼと 2010年3月号(第311号) 定価200円(会員の購読料は会費に含まれます)
 発行人 藤掛保司 編集発行 日本野鳥の会埼玉県支部 郵便振替 00190-3-121130
 〒330-0064 さいたま市浦和区岸町4丁目26番8号 プリムローズ岸町107号
 TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460 http://35.tok2.com/wbsjsaitama/
 編集部への原稿 yamabezuku@hotmail.com 野鳥情報 toridayori@hotmail.com

住所変更退会などの連絡先は 〒141-0031 品川区西五反田3丁目9番23号 丸和ビル
 (財)日本野鳥の会 会員室会員グループ TEL 03-5436-2630 FAX 03-5436-2635

本誌掲載記事はホームページに転載される事があります。本誌またはホームページからの無断転載は、かたくお断りします。 印刷 関東図書株式会社